

株式会社 北九州ウォーターサービス

I 法人の概要 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

1 所在地

北九州市小倉北区浅野三丁目 8 番 1 号

2 設立年月日

平成 27 年 12 月 1 日

3 代表者

代表取締役社長 富増 健次

4 資本金

100,000 千円

5 北九州市の出資金

54,000 千円 (出資の割合 54%)

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	6 人	0 人	2 人	4 人
常 勤	2 人	0 人	2 人	0 人
非常勤	4 人	0 人	0 人	4 人
職 員	238 人	1 人	73 人	164 人

7 市からのミッション

水道及び下水道事業に関する専門技術とノウハウ、公民協働体制の利点を最大限に発揮しながら、上下水道局の補完的役割を担うパートナー事業者として、市の水道事業及び下水道事業の効率的かつ安定的な運営に寄与するとともに、水道事業の広域化や海外水ビジネスなどの推進に貢献する。

II 平成 28 年度事業実績

平成 27 年 12 月の設立から 2 期目となる平成 28 年度は、一般財団法人北九州上下水道協会（以下「協会」という。）から引き継いだ事業を着実に履行するとともに、新たに市が受託した宗像地区事務組合の水道事業の一部を受託するなど、本格的に株式会社としての運営を始めた年度であり、経営基盤を整備する重要な事業年度であった。当該年度を『未来をめざし、当社が新たな上下水道事業の担い手としての事業を開始する船出の事業年度』と位置付け、その事業を実施した。

1 受託事業

(1) 水道・下水道・河川に係る施設等の維持管理等業務

ア 水道に係る受託業務

① 給水装置工事審査・検査補助等業務

② 井手浦浄水場運転監視等業務（道原浄水場の整備業務を含む）

③ 排水処理施設運転整備等業務

イ 下水道・河川に係る受託業務

① 浄化センター中央操作等業務（水質検査補助業務を含む）

② 新町・北湊浄化センター等運転整備等業務（浄化センターでの薬品選定等業務を含む）

③ 排水設備工事審査補助等業務

④ 竹馬川・貫川防潮水門監視業務

(2) 広域連携に係る受託業務

ア 宗像地区水道施設維持管理等業務

① 水道施設の維持管理に関する業務

水道施設の修繕補修、浄水場運転維持管理、給水装置の設計審査・検査

② 給水装置に関する業務

給水装置の申込、メータ管理

③ 水道施設の建設改良工事に関する業務

設計図書の作成、設計・工事の監督・検査（但し契約業務は除く）

(3) 北九州市海外水ビジネス推進協議会事務局業務

ア 協議会の運営（総会、セミナー、勉強会等）

イ 協議会のホームページ運用

ウ 関係省庁や支援機関の支援情報提供

エ 広報（パンフレット作成）

2 自主事業

(1) 海外事業

ア 海外水ビジネス事業

① カンボジア国プノンペン都下水・排水改善プロジェクト

② JICA 中小企業海外展開支援事業「上向流式生物接触ろ過を活用した浄水処理の普及・実証事業」における水質分析関連業務

③ JICA ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画詳細設計

④ ジャカルタ特別州下水道整備にかかる計画策定能力向上プロジェクトに係るコンサルティング業務

イ 国際協力事業

① 平成 28 年度「水環境行政」コース研修実施

② 平成 28 年度第 3 回「下水道システム維持管理(B)」コース研修実施

ウ その他（協会からの事業引継に関連する業務）

① カンボジア国・民営水道セクターに適した省エネシステムの実証実験における業務

(2) 水道・下水道事業に係る公有地活用事業

ア 水道・下水道事業に係る公有地を借上げ、駐車場として管理運営する業務

水道事業用地 19 箇所 444 台、下水道事業用地 1 箇所 6 台 合計 450 台

福岡県下水道排水設備工事責任技術者試験事務等補助業務

ア 当該技術者試験及び更新講習に関する業務の補助

イ 県下水道協会の経理業務、総会、幹事会に関する補助業務

3 当該事業年度の事業の経過及び成果

協会から引き継いだ施設等の維持管理等業務について、適切に実施した。

新たに受託した宗像地区水道施設維持管理等業務についても、特に大きな問題もなく適切に実施した。

海外事業においては、協会から引き継いだ事業を適切に実施するとともに、新たな事業案件に取り組んだ。また、協会から資金提供を受け、引き継いだカンボジア国民営水道セクターに関する調査業務などを実施した。

事業開始の初年度であり、会社の認知度向上を図るため、上下水道業界や地域の経済界へ新聞、雑誌等による広告宣伝を行った。

協会との事業譲渡契約により取得した資産等の引継を法令に従い適切に行った。
また、協会の解散が予定より半年遅れたため、この間の協会運營業務を受託した。

Ⅲ 平成 28 年度決算

1 貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日現在 (単位 : 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
【流動資産】	390,720,558	【流動負債】	290,243,339
現金及び預金	264,221,808	買掛金	42,318,900
売掛金	124,087,385	未払金	8,953,810
貯蔵品	326,881	未払費用	33,593,059
前払費用	2,058,966	未払法人税等	34,931,800
その他	25,518	未払消費税等	79,890,100
【固定資産】	63,386,487	預り金	25,536,886
【有形固定資産】	34,254,602	前受収益	6,771,580
建物	6,235,583	賞与引当金	58,247,204
建物付属設備	7,746,354	【固定負債】	20,289,767
機械装置	3,860,761	退職給付引当金	20,289,767
車両運搬具	9,077,865	負 債 合 計	310,533,106
工具器具備品	7,334,039	【株主資本】	143,573,939
【無形固定資産】	9,518,610	【資本金】	100,000,000
ソフトウェア	9,167,010	【利益剰余金】	43,573,939
その他	351,600	【その他利益剰余金】	43,573,939
【投資その他資産】	19,613,275	繰越利益剰余金	43,573,939
出資金	4,493,600		
差入保証金	14,595,236		
長期前払費用	506,099		
その他	18,340	純資産合計	143,573,939
資 産 合 計	454,107,045	負債・純資産合計	454,107,045

2 損益計算書

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日 (単位:円)

科 目	金 額	
【売上高】		1,697,253,644
【売上原価】		1,480,337,809
【売上総利益】		216,915,835
【販売費及び一般管理費】		147,589,965
営業利益		69,325,870
【営業外収益】		
受取利息	3,066	
雑収入	18,905,477	18,908,543
【営業外費用】		
雑損失	2	2
経常利益		88,234,411
税引前当期純利益		88,234,411
法人税、住民税及び事業税		34,932,264
当期純利益		53,302,147

平成 29 年度事業計画

上下水道事業においては、人口減少や節水型社会の到来等による料金収入の減少や更新すべき老朽化施設の増大、施設の耐震化等、運営基盤を今まで以上に強化しなければ対処できない課題を抱えている。また、これまで事業を支えてきた技術職員の退職などにより、技術基盤の確保、継承について深刻な状況に置かれている。

上下水道事業を取り巻く環境は、今後も一層の厳しさを増していくことが予想されるが、運営基盤強化のための効率化の追求や技術基盤の維持など、上下水道事業体内部での対応には限界がある。

当社は北九州市内の上下水道施設の維持管理等を永年実施してきた一般財団法人北九州上下水道協会を母体とし、平成 28 年 4 月 1 日から同協会の事業を譲り受けて本格的に事業を開始した。当社の発足の背景は、上下水道事業を取り巻く環境を踏まえ、技術を維持・継承する基盤の構築等が喫緊の課題であったことが挙げられる。

上下水道事業は、普及促進期から現在に至るまで様々な苦難や非常事態への対策・対応がなされてきた歴史があり、それらの歴史の中で実務を担った OB 職員の経験を次世代に引き継ぎ、今後も上下水道事業を安心・安全に担うことができるよう貢献することが当社に課された使命であると考えられる。

広域事業においては、当市の近隣に存在する中小の水道事業体が、単独で技術基盤の確保・継承に対処することは極めて困難な状況であるため、多様なスキームの構築により広域連携を図り、市と一体となって近隣事業体の業務を支援していく。

海外事業においては、市が進める海外水ビジネス推進協議会の事務局業務等を担当するとともに、市と連携し、開発途上にある海外の地域の水道水の安定供給、汚水の適切な処理等に、これまでの経験を活かして水ビジネスにつなげていくとともに、海外からの研修生受入れ等の国際協力を実施する。

1 受託事業

水道・下水道・河川に係る施設等の維持管理等業務

ア 水道に係る受託業務

給水装置工事審査・検査補助等業務

井手浦浄水場運転監視等業務（道原浄水場の整備業務を含む）

排水処理施設運転整備等業務

イ 下水道・河川に係る受託業務

浄化センター中央操作等業務（水質検査補助業務を含む。）

新町・北湊浄化センター等運転整備等業務（浄化センターでの薬品選定等業務を含む）

排水設備工事審査補助等業務

竹馬川・貫川防潮水門監視業務

広域連携に係る受託業務

ア 宗像地区水道施設維持管理等業務

水道施設の維持管理に関する業務

水道施設の修繕補修、浄水場運転維持管理、給水装置の設計審査・検査

給水装置に関する業務

給水装置の申込、メータ管理

水道施設の建設改良工事に関する業務

設計図書作成、設計・工事の監督・検査（但し契約業務は除く）

北九州市海外水ビジネス推進協議会事務局業務

ア 協議会の運営（総会、セミナー、勉強会等）

- イ 推進協議会のホームページ運用
- ウ 関係省庁や支援機関の支援情報提供
- エ 広報（パンフレット作成）

2 自主事業

(1) 海外事業

- ア 海外水ビジネス事業
- イ 国際協力事業

(2) 水道・下水道事業に係る公有地活用事業

水道・下水道事業に係る公有地を借上げ、駐車場として管理運営する業務
水道事業用地 19箇所 444台、下水道事業用地 1箇所 6台 合計 450台

(3) 福岡県下水道排水設備工事責任技術者試験事務等補助業務

- ア 当該技術者試験及び更新講習に関する業務の補助
- イ 県下水道協会の経理業務、総会、幹事会に関する補助業務

3 その他

(1) 組織に関するもの

現在の日本では急速な高齢化と少子化が同時に進み、経済を支える現役世代の割合が減少している。そのため、技術継承を進めるにあたっては、次世代へ引き継ぐべき技術を絞り込み、効率的かつ確実な継承を行うべきである。

しかし、実態として、定年後の再雇用や雇用延長により、既に技術の蓄積された熟練者を維持することが多く、次世代への技術継承が先送りされてきた。

そのため、持続可能な実施体制及び技術継承を目的として、現行の人事制度を見直し、有能な社員を採用する基盤を整備するため、出資企業や市内の類似事業者、北九州市の制度を総合的に検討して最適な人事制度の確立を図る。

(2) 広報活動に関するもの

現代の上下水道事業は、人口減少等による料金収入の減少により、厳しい経営状況となっている。そのような中、老朽化した施設の更新や耐震化の需要は増加しており、必要な投資が行えず、施設の維持管理が困難になれば、水道の使命である安全な水の安定供給など水道サービスの低下を招くことが懸念される。

このような状況を乗り越え、いつまでも安心して上下水道を利用していただくためには、料金等を支払っている住民に対しての広報を行い、上下水道の重要性やサービス内容及び効果などを正しく理解してもらうことが必要となってくる。

昨今、マスコミによって様々な面から上下水道事業に注目が集まっており、地域の人々へ理解と協力を呼び掛ける絶好の機会ともいえる。

これまで住民に対する情報発信は、上下水道局による地道な広報活動の繰り返しでの浸透が図られてきた。

当社においても上下水道局と連携してイベントなどに参加し、事業内容と成果や維持管理業務のスペシャリストとしての技術などを継続的に広報し、地域の方々との信頼関係を構築していきたいと考える。また、活動等を一般紙などの媒体を通じて発信し、市内のみならず広域にその成果などを広報していく。

V 平成 29 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日 (単位: 千円)

科 目	金 額
【売上高】	1, 770, 338
【売上原価】	1, 517, 810
【売上総利益】	252, 528
【販売費及び一般管理費】	178, 940
営業利益	73, 588
【営業外収益】	
受取利息	
雑収入	73, 588
【営業外費用】	
雑損失	
經常利益	73, 588
税引前当期純利益	73, 588
法人税、住民税及び事業税	25, 756
当期純利益	47, 832

役員名簿等

1 役員名簿

平成 29 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	摘要
代表取締役社長	富増健次	
専務取締役	村田健司	
取締役	川上貴幸	メタウォーター株式会社 PPP 本部プロジェクト計画部事業企画第二グループグループマネージャー
〃	有田仁志	北九州市上下水道局長
〃	小西純輔	株式会社安川電機システムエンジニアリング事業部社会システム事業統括部長
監査役	佐藤保明	北九州市上下水道局総務経営部長
〃	高取亮	株式会社みずほ銀行北九州支店長

2 市との特命随意契約の状況（平成 28 年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
宗像地区水道 施設維持管理 等業務委託	645,451	本市は、宗像地区事務組合と水道事業包括業務委託に関する基本協定を締結し、平成 28 年 4 月から宗像地区の水道事業の受託を開始した。業務実施にあたっては、宗像地区住民の重要なライフラインである水道を安全かつ安定的に供給する必要があることから、同組合から技術を要する施設の維持管理等に関する業務を外部委託する場合、水道事業に関する技術を有することはもとより、北九州市が一定の関与のもと、責任を持って遂行できる相手方に委託するよう要請されていた。同社は、本市のガバナンスの下、上下水道事業の基幹的業務の効率化・安定的な事業体制の維持を図ることを目的として設立した外郭団体である。また、前身である（一財）北九州上下水道協会時代から、数多くの本市水道業務を受託してきたことで、専門知識やノウハウを蓄積しており、漏水事故等、緊急時に迅速かつ的確な対応をとることができる本市唯一の団体であるため。	送配給水管等維持管理業務委託	48,200	宗像管工事協同組合	随意契約（特命）	水道事業の円滑な運営と市民サービスの向上を図ることを目的とし、漏水対応や配水管等の修理を迅速かつ正確に行うため、地元の協同組合と契約するもの。
			福津市福間地区（偶数月）における送配給水管等修理業務委託	1,896	福津市管工事協同組合	随意契約（特命）	水道事業の円滑な運営と市民サービスの向上を図ることを目的とし、漏水対応や配水管等の修理を迅速かつ正確に行うため、地元の協同組合と契約するもの。
			福津市福間地区（奇数月）における送配給水管等修理業務委託	1,896	福津市上下水道協同組合	随意契約（特命）	水道事業の円滑な運営と市民サービスの向上を図ることを目的とし、漏水対応や配水管等の修理を迅速かつ正確に行うため、地元の協同組合と契約するもの。
			福津市津屋崎地区における送配給水管等修理業務委託	1,361	津屋崎上下水道協同組合	随意契約（特命）	水道事業の円滑な運営と市民サービスの向上を図ることを目的とし、漏水対応や配水管等の修理を迅速かつ正確に行うため、地元の協同組合と契約するもの。
			多礼浄水場等運転管理業務委託	99,868	㈱ケイ・イー・エス	随意契約（特命）	平成 23 年度から多礼浄水場等の運転管理及び保守点検を実施し、多礼浄水場等の設備についても幅広く熟知しており、業務の継続性や効率的な運営が可能なため。
			福津市域における水道施設管理地草刈清掃業務委託	2,981	（公社）福津市シルバー人材センター	随意契約（特命）	地方公営企業法施行令第 21 条の 14 第 1 項第 3 号（高齢者等の雇用の安定等に関する法律）の規定に基づく。

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			多礼浄水場関連 及び配水池等草 刈業務委託	4,033	(公社)宗像 市シルバー 人材センタ ー	随意契約 (特命)	地方公営企業法施 行令第21条の14 第1項第3号(高 齢者等の雇用の安 定等に関する法 律)の規定に基づ く。
			水道施設情報シ ステム保守業務	518	(株)ジオクラ フト	随意契約 (特命)	本システムについ てはプロポーザル 方式により(株)ジ オクラフトが受注し 構築業務を行って おり、システムの 継続及び更新が可 能であるため。
			漏水調査業務委 託	2,382	協和管工(株)	指名競争 入札	
			脱水機設備点検 調整等業務委託	2,155	石垣メンテ ナンス(株) 九州支店	随意契約 (特命)	(株)石垣が製作設置 した脱水機であ り、メンテナンス 専門の石垣メンテ ナンス(株)でのみ、 点検が行えるため。
			日の里配水池斜 面草刈業務委託	810	(有)白木造園 土木	指名競争 入札	
			吉田・多礼貯水 池深浅測量業務 委託	3,240	(株)バスコ福 岡支店	指名競争 入札	
			多礼浄水場薬注 ポンプ点検調整 等業務委託	810	(株)フソウ	指名競争 入札	
			水道施設情報シ ステムデータ更 新業務	7,502	(株)ジオクラ フト	随意契約 (特命)	本システムについ てはプロポーザル 方式により(株)ジ オクラフトが受注し 構築業務を行って おり、システムの 継続及び更新が可 能であるため。
			多礼浄水場活性 炭入替業務委託	23,900	水研化学工 業(株)福岡 営業所	指名競争 入札	
			ダム計装設備点 検業務委託	797	富士通(株) 九州支社	随意契約 (特命)	本設備の設置業者 であるため。
			高圧電気設備等 保守点検業務委 託	443	一般財団法人九州電気 保安協会 福岡支部福 岡東事業所	指名競争 入札	
			監視制御設備等 保守点検業務委 託	4,104	(株)安川電機 九州支店	随意契約 (特命)	本設備の設置業者 であるため。
			多礼浄水場計測 器点検業務委託	734	(株)エース・ウ ォーター	指名競争 入札	

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			ダム堤体観測設備点検業務委託	281	(株)共和電業福岡営業所	随意契約(特命)	本設備の設置業者であるため。
			宗像市・福津市配水池機械等警備業務委託	1,703	(株)にしけい	指名競争入札	
			給水申請受付システム保守業務委託	242	大成ジオテック(株)	随意契約(特命)	本設備の設置業者であるため。
			津屋崎高区配水流量計点検業務委託	86	新川電機(株)	随意契約(特命)	本流量計は横河電気製の電磁流量計であり、メンテナンス専門の新川電機(株)でのみ点検が行えるため。
			日の里低区配水流量計点検業務委託	105	東京計器(株)	随意契約(特命)	本設備の設置業者であるため。
			地島浄水場多項目水質計器点検業務委託	85	西日本オートメーション(株)	随意契約(特命)	本設備の設置業者であるため。
給水装置工事審査・検査補助等業務委託	84,347	同社は、手続に際し、利害関係が絡む可能性のある民間業者より公平性を確保することができ、かつ、関係法規や実務に関して高度の知識等を有しているため。	再委託なし				
井手浦浄水場運転監視等業務委託	97,200	本業務は、安定的に安全な水を供給するための浄水場運転業務である。 業務を行うにあたっては、通常時はもとより事故や災害時にも適切に対応しなければならぬため、高い水道技術のみならず、本市独自の水事情や水道施設に関してのノウハウや専門知識が要求される。 同社は、これまでに多くの関連業務を請け負ってきた経験を通じて、本市独自の水事情や施設に関する専門知識や、ノウハウを多く蓄積している。事故や災害時でも、その知識とノウハウに基づき、迅速かつ的確に対応が可能である唯一の業者であるため。	再委託なし				

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
排水処理施設 運転整備等業 務委託	117,582	本業務は、安定的に安全な水を供給するための排水処理施設運転業務である。 業務を行うにあたっては、通常時はもとより事故や災害時にも適切に対応しなければならないため、高い水道技術のみならず、本市独自の水事情や水道施設に関するノウハウや専門知識が要求される。 同社は、これまでに多くの関連業務を請け負ってきた経験を通じて、本市独自の水事情や施設に関する専門知識や、ノウハウを多く蓄積している。事故や災害時でも、その知識とノウハウに基づき、迅速かつ的確に対応が可能である唯一の業者であるため。	沈殿池等洗浄業務	14,252	(株)環境開発 北九州支店	随意契約 (特命)	本業務の履行には時間的な制約があり、特殊な洗浄機器の使用や緊急時の対応が可能な体制の整備が求められる。 受注者は、特殊技術と専門的な知識及び資格を有し、また、永年の実績により浄水場全体のシステムに精通しているため、迅速かつ確実な業務の履行が可能である。
排水設備工事 審査補助等業 務委託	51,192	本業務は、上下水道局が実施する排水設備工事の計画確認及び完了検査、水洗便所の改造指導及び資金融通等に関する相談、といった行政行為を補完する業務を主たる内容とするものである。 同社は、手続に際し、利害関係が絡む可能性のある民間業者より公平性を確保することができ、かつ、関係法令に関する高度な知識等及び豊富な実務経験を有しているため。	再委託なし				
浄化センター 中央操作及び 新町・北湊浄 化センター等 運転整備等業 務委託	734,400	中央操作業務は、流入する汚水量や性状に応じて、水処理過程の制御を行い、安定した放流水質を維持するとともに、雨天時にはポンプの稼働調整を行い、浸水防除等を行う業務である。本業務は定型的で確立された方法がなく、また、ゲリラ豪雨・台風等に起因する急激な水量変化に対し、施設ごとの特徴を熟知した上で臨機応変な運転が必要になる。 また、運転整備業務においても、浄化センターやポンプ場への流入水の状況が異なっており、汚泥処理においても常に変化する汚泥性状に応じた運転や設備整備が求められる。	再委託なし				

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
		同社は、これまで多くの関連業務を請け負ってきた経験を通じて、本市特有の地域特性や機器の形式や老朽化の状況、下水道処理設備の実情等を正確に把握しており、緊急時には的確な即時対応が出来る技術力やノウハウを蓄積している唯一の業者であるため。					
新町・北湊浄化センター薬品選定業務委託	34,728	本業務の実施に当たっては、発生汚泥の日々の性状に応じて、最適な薬品の種類・注入率の組み合わせを選定することで、目標含水率までの脱水処理を安定的に行うことが強く求められる。 本業務は、汚泥量に応じた単価契約であるため、「浄化センター中央操作及び新町・北湊浄化センター等運転整備等業務委託」とは別契約になっているが、当該業務に含まれる脱水処理業務と一体不可分であることから、業務を受託する者に、本業務を特命するもの。	再委託なし				
竹馬川・貫川防潮水門監視業務	13,463	本業務は、曾根浄化センター内の監視モニターにより竹馬川・貫川の防潮水門を監視するものである。 同社は、「浄化センター中央操作及び新町・北湊浄化センター等運転整備等業務」の受託により、曾根浄化センター中央操作室に24時間体制で社員が常駐するため、夜間・休日を問わず緊急対応が可能となることから、本業務を特命するもの。	再委託なし				
合計	1,778,363		合計	224,384			